

令和5年度 第4回 昭島市社会教育委員会会議・要点録

開催日時／会 場 令和5年7月27日（木）午後7時00分～8時45分 204会議室＋Web会議
出席者 谷部議長、松本副議長、小原委員、前川委員、指田委員、小池委員、齋藤委員、二ノ宮リム委員、信國委員
事務局 川崎社会教育係長、中本主任

1 開 会

＜配付資料＞

- 資料1 令和5年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第2回役員会・拡大役員会次第 他
- 資料2 令和5年度第65回全国社会教育研究大会宮崎大会開催要項
- 資料3 令和5年第2回昭島市議会定例会一般質問＜生涯学習部関係＞
- 資料4 第8回市民のニーズを活かす・つなげる あきしま会議 実施報告

- ・昭島市月間行事予定表8月
- ・教育・青少年だより エール7号
- ・市民のニーズを活かす・つなげる あきしま会議

2 報 告

（1）令和5年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第2回役員会

・第2回拡大役員会・第1回理事会について（7/11）（資料1）

※事務局より資料の説明

議 長 全国社会教育委員連合表彰候補者推薦について、社会教育委員の継続年数に制限のある市がある中、在職年数が長いことを理由に、2年連続で同じ市から推薦者を出すのはいかがなものか、提言をした。意見は会長預かりとなっている。

また、以前依頼した都市社連協の会議に係るオンライン会議についてのアンケート結果は、社会教育活動は対面が基本だが、オンライン会議は努力目標とし、開催市の事務局に委ねることとした。

事務局 ブロック研修会に他のブロックの委員が出席したい場合は、ブロック幹事の事務局に問い合わせを。

（2）昭島市小学生国内交流事業運営委員会について

※委員より報告

（3）令和5年度第65回全国社会教育研究大会宮崎大会第5分科会事例発表について （資料2）

※事務局より資料の説明

(4) 令和5年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第2ブロック研修会について

事務局 講師は合同会社ファミリーコンパス代表渋谷聡子氏に依頼をしている。内容についての詳細は今後打合せを行う予定である。

(5) 令和5年第1回昭島市議会定例会代表質問及び一般質問等について (資料3)

※事務局より資料の説明

3 協 議

(2) 令和5年度第65回全国社会教育研究大会宮崎大会第5分科会事例発表にあたって

議 長 第5分科会の発表にあたって、冊子用の文書と当日発表に使用する資料について提出依頼があった。冊子の「はじめに」について聞いていただきたい。(案を読み上げ)
この後に発表者より、活動の内容や成果と課題、今後の展望を掲載する。

また、プレゼンテーションの冒頭部分の案を作成したので読み上げるが修正等があれば後ほどお願いしたい。(案を読み上げ)

それから、発表の前に昭島市を紹介するために、昭島の四季の写真やアキシマエンスのクジラのレプリカ、クジラのマンホールの写真等を放映したい。

(1) あきしま会議（通算8回目）の振り返りと今後の進め方について (資料4)

※事務局より資料の説明

議 長 会議の中で今後どのように進めていったら良いのかという提案があった。1年に1度程度は会議を開催していく予定である。明日、若者の振り返りの会議が予定されていたかと思うがいかがか。

委 員 予定されている。高校生のリーダーを含め2,3人が出席をするのではないと思う。高校生の動きは高校生がリードしていけるようにしていきたい。そのための関係性を整え、大人が入ったの振り返りは明日限りとしたい。そして、そのリーダーから参加した人たちに声をかけ、高校生だけで考えてもらうのが良いと思っているが、高校生に任せきりではなく、メンター(助言者)として大人のあきしま会議の参加者や社会教育委員にも入っていただきたいと思っている。

また、明日の会議には社会教育委員から4名参加する予定である。

議 長 個人的な感想だが、J:COMから取材を受け、地域のニュースとして紹介されたが、高校生が「昭島に住んで良かったと言ってもらえる街にしたい」と言っていたことが、非常に印象に残った。これからの若い人たちに積極的に意見を言ってもらえるような環境づくりが大切であると実感した。

委 員 アンケートの中に、今までのあきしま会議の簡単な紹介があると、初めて参加した方にもあきしま会議のことがわかりやすいのではないかと意見があった。そこで、ニュース映像を見ていただくのも良いのではないか。

また、あきしま会議は、若者の意見を実現させるために動くということで、課題として「情報と居場所づくり」がある。「情報」という観点からは、A4の紙を4つに折った

1/4サイズのチラシがある。チラシ置き場の有効活用と、持ち帰りやすさなどを考慮したチラシについて研究しても良いかと思う。市内で活動している団体のチラシがなかなか手に取ってもらえないということもあるが、この大きさであればバッグにも入りやすく、手に取ってもらえるのではないかと思う。1面には何を載せるかなどのルール作りをしないとうまく活用できないかと思うので、その研究、検討をあきしま会議でしてはどうか。

また、あきしま会議で居場所づくりと情報について出てきた意見についての検討は、今後どうするのか。大人が話し合った内容についても検討、研究を行うべきではないか。

議 長 以前から、会議で日頃の活動の問題点などを話し合うだけで終わってしまうのは意味がないという認識はある。それをどのような形で吸い上げ、少しでも行政に展開できればいいと思う。それをどのような形にすれば良いのか討議を重ねているところである。一つの案として社会教育委員がサロンのようなものを立ち上げ、行政にバックアップしてもらうのはどうか、という話が出ていたと思っている。その中で意見を取り上げ取捨選択し、行政に反映してもらうのはどうか。

委 員 あきしま会議はなくなり、小さな話し合いの場を作り、最終的に行政に意見するということか。

議 長 あきしま会議は今まで通り開催したい。

委 員 あきしま会議とは別に、小さな形で同時進行していくということか。若者は現在そのような形になっている。大人の「情報」についてはどうするのか。

議 長 実際にサロン等を立ち上げるとなると課題もある。

委 員 つながる場としてのあきしま会議は年1回か2回、今まで通り開催するのは賛成である。同時にプロジェクトとして別のものを立ち上げるという観点から特別版のあきしま会議を開催した。そのプロジェクトとしてチームを組んで活動していくことは必要であろう。

情報共有、発信については、チラシの件があきしま会議の中でも重要性も高く実行可能であると考え。SNSやチラシを含め、情報発信について学び合うような学習会が必要なのではないかということか。そうであれば、そういったことを企画することが一つ。それから、居場所、施設については登録の一元化や予約システムの使い勝手の悪さなどについては、現状では課題を取りまとめている組織もないと思うので、社会教育委員の中で改善点を一覧にするなどの作業を社会教育委員会会議の中でやっていければ良いのかと思うがいかがか。

委 員 実際に施設の予約が一元化されていない現状を調べたり、まず、自分自身がこれらについて把握する必要がある。それから、あきしま会議のDグループの（施設）の発表の中で、「若者世代に魅力のある施設とは」とあったが、これを若者に聞いてみたい。

委 員 公民館を若者に魅力のある場所にするにはどうするか、などの話も出ていた。若者の活動の中で、既存の施設を活用し活動ができれば、魅力ある公民館づくりにもつなげることができるかもしれない。

委 員 「魅力ある公民館づくり」などのグループを立ち上げて良い。

委 員 公民館運営審議会も巻き込んでいくのか。連携できるとよい。

委員 今でも若者が夜、F O S T E Rホールの前でダンスをしたりしている。それをもう少しミラーの濃いシールを貼ってあげればもう少しちゃんとできるのか。

委員 それが、気軽に中で使えるようになるとよい。ただ、予約システムが今の時代から外れた古いシステムなので、若者が予約システムを使うとそういう意見も出てくるのではない。若者が予約システムを使ってなんだこれは、と言ってもらった方がよい。予算の関係もあると思うが、いろいろなことを市民が言うことで予約システムが使いやすくなっていくのではない。

委員 施設の改善については、社会教育委員会議の中で課題と改善策を文書化できればそれをもって行政と相談したり、公民館のことは公運審や公民館の職員と相談するなり、次のステップに持っていけるのではない。

委員 若者だけではなく、大人も頑張らないといけない。

委員 若者バージョンが成功するだけでなく、社会教育委員自身も施設のことに關しては出てきた意見をまとめつつ、自分たちが使っているときに感じる良いことや、改善したいこともある。公民館の展示室を使い、中高生の展示をしたときは、公民館の中で若者が活動しているだけで、高齢者も刺激を受けている。若者の活動は、他の人にも良い影響を与えている。

委員 可能であれば次の会議に向け、これまで施設の問題点や改善策について出てきた論点をまとめた資料を事務局で作成していただきたい。それに基づいてディスカッションをし、整理をし、その資料を最終化していくことができるのでは。

議長 簡単に進められそうなものは予約システムの問題点かと思うが。前回の会議でも付箋に書かれたものがあつた。

委員 ステップアップミーティングでもいろいろ意見が出ていた。今までの会議に出された問題点や改善点をまとめればそれなりのボリュームになる。個人的に気になる点もあれば追加していてもよい。

議長 それでは、次回のために事務局でまとめをお願いしたい。

(3) 令和5年度自主研修について

議長 通常、2年に一度、例年、2月に視察研修を実施している。昨年度、一昨年度はコロナ禍で実施できなかったが小田原、清水に行く予定であつた。これはアキシマエンスを指定管理者が運営することとなり、その指定管理の取組についてどのように行政と委託業者と市民をリンクさせるのか、どのようなことをやっているのか学ぶことが目的であつた。来年、2月か3月に自主研修のため自費となるが、一泊で実施したいがいかか。別の場所でも良いが。

委員 行先と日程次第ではないか。

議長 本日はこれにて閉会とする。

次回

8月24日(木) 午後7時より 204会議室+Web会議

9月28日(木) 午後7時より 204会議室+Web会議